

TÖYÖTÖMI

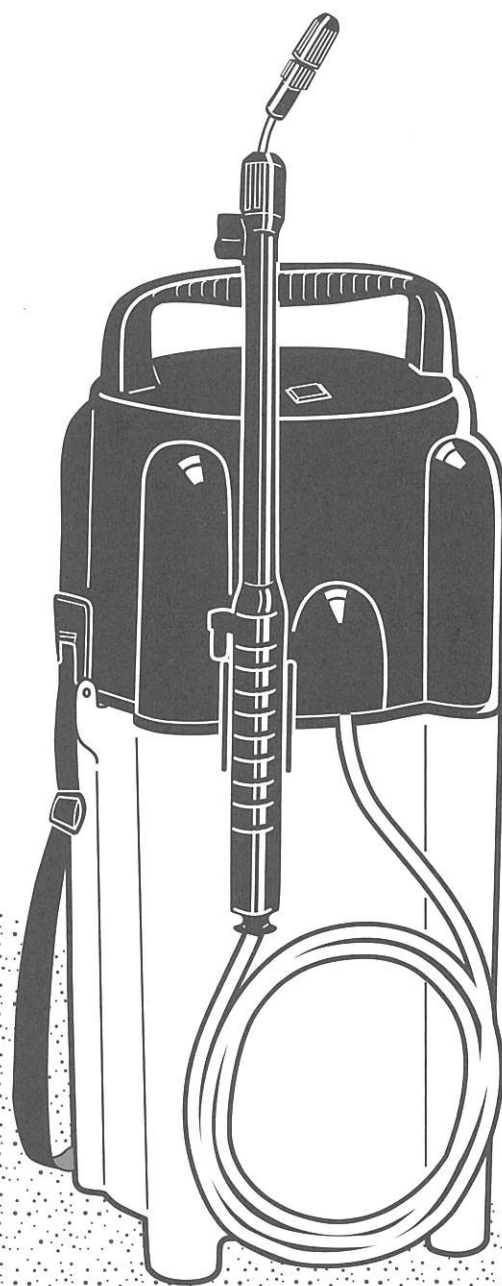
トヨトミ噴霧機

電池式 型 **ESD-50G**
R20P (単一形) 乾電池 式
4 個 使用 イー エス デー ジー

取扱説明書

(保証書付き)

- このたびは本品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
- お使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をお読み頂き、正しい使い方でご愛用くださいますようお願い申し上げます。
- この取扱説明書は、大切に保管して時々読みなおしてご活用ください。
- まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがありますので、正しい方法でご使用ください。





《目 次》

1	安全上のご注意	1 ~ 2
2	各部のなまえ	3
3	使用方法	4 ~ 5
	(1) 使用前の準備	4 ~ 7
	(2) 運転方法	8
	(3) 噴霧と噴射の切り替えかた	9
4	使用後のお手入れ方法	10
5	保管上のご注意	11
6	仕様	12
●	保証とアフターサービス	13
●	保証書	裏表紙










1 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告 (WARNING)	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意 (CAUTION)	取扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

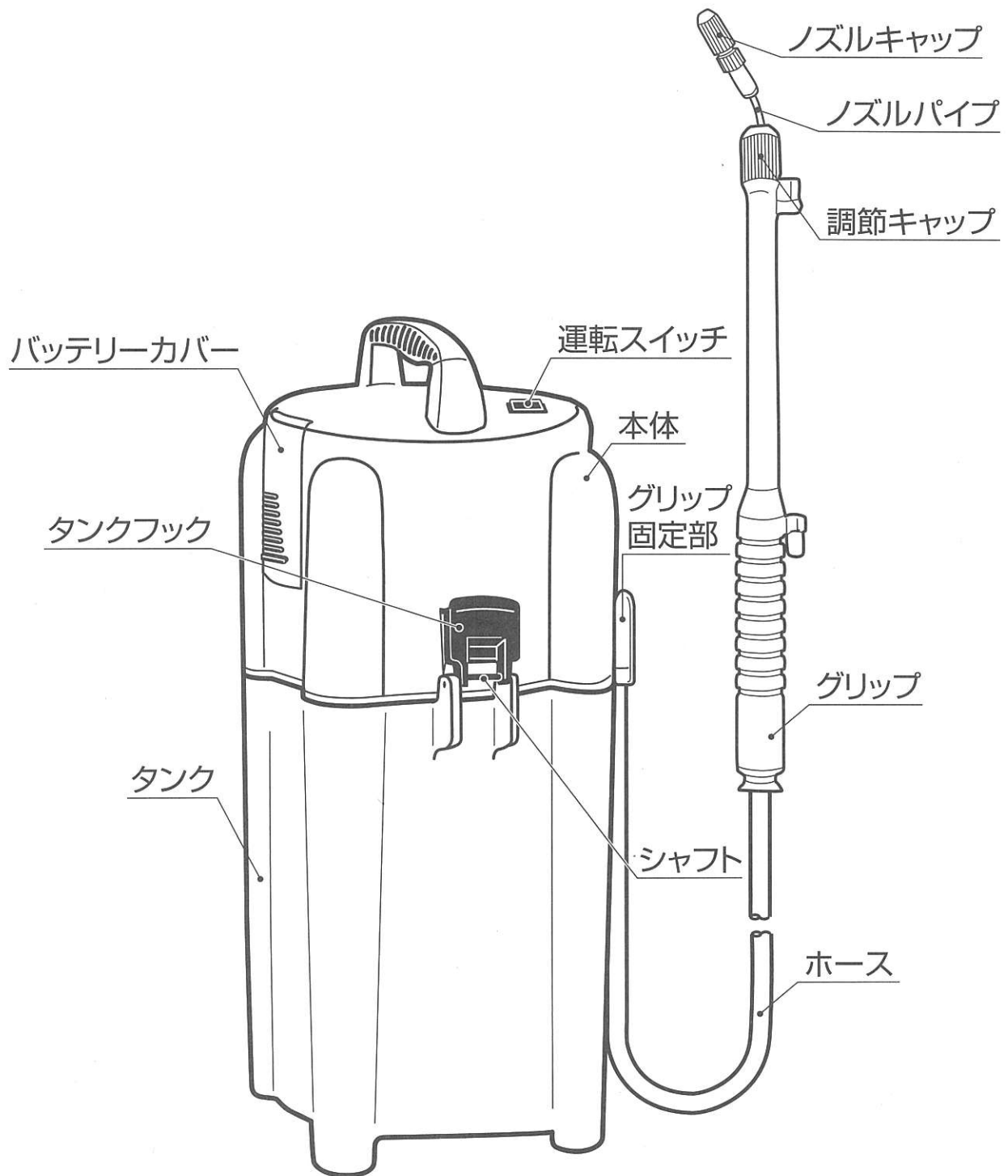
- なお、イラストの中の ⊘ 記号は「禁止」、❗ 記号は「強制」、⚠ 記号は「注意」を表わしています。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

 警告 (WARNING)	
<p>★ 園芸専用ですので、園芸用薬剤以外は絶対に使用しない。 塗料やガソリンなど引火性の液体を使用すると、引火・爆発の危険があります。</p>	 禁止 
<p>★ 分解したり修理・改造はしない。 発火したり異常作動してけがをすることがあります。</p>	 分解禁止
<p>★ 使用する薬剤は人体に有害です。 ● 薬剤の使用、取り扱いは、必ず薬剤会社の注意・説明書に従って、正しく取り扱ってください。 ● 薬剤の散布は、人体や動物にかからないように十分に注意して、必ず風上からおこなってください。 ● 噴霧機の調整や取り扱い中に、不用意に薬液が噴き出して身体にかからないように注意してください。</p>	 確認
<p>★ 子供に使用させたり、薬剤に触れさせたりしない。 薬害のおそれがあります。</p>	 禁止 
<p>★ 子供のいる近くでは散布しない。 薬害のおそれがあります。</p>	 禁止 

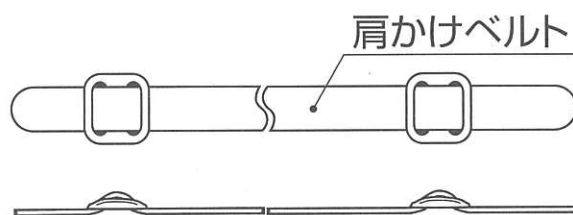
⚠ 注意 (CAUTION)

<p>★ 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。 ショートのおそれがあります。</p> <p>● もし誤って、本体内に水が入ったときは、すぐに使用を中止し、販売店にご相談ください。</p>	 水ぬれ禁止
<p>★ タンク内に液を入れずに、空運転はしない。 故障の原因になります。</p>	 禁止
<p>★ 40°C以上の湯、薬剤は使用しない。 故障、やけどの原因になります。</p>	 禁止
<p>★ 器具に強い衝撃を与えたり、落としたりしない。 破損・故障の原因になります。</p>	 禁止
<p>★ 改造したり、ノズルパイプを継ぎ足して長くしたり、ノズルキャップの穴を大きくしたりしない。 故障の原因となります。</p>	 分解禁止
<p>★ 園芸用以外の殺虫剤や消毒剤、防疫用薬品、畜産用薬品や強アルカリ性薬剤、強酸性薬剤などは使用しない。 故障の原因になります。</p>	 禁止
<p>★ 使用する薬剤は人体に有害です。</p> <p>● 薬剤の取り扱いや散布にはゴム手袋をはめ、散布時は、帽子、マスク、合羽などで、薬液がかからない服装で作業をおこなってください。</p> <p>● 散布後は、うがい、洗浄、着替えをおこなってください。</p>	 確認
<p>★ 保管、手入れなど、使用時以外は、乾電池を本体から取りはずす。 何かの拍子でスイッチが入り、器具の故障、過熱、火災の原因になります。 また乾電池が放電し、液漏れして器具を傷め、動作不良、故障の原因になります。</p>	 確認
<p>★ ホースを強く引っばらない。 故障の原因となります。</p>	 禁止
<p>★ むやみに本体のハンドル部を持ってふりまわさない。 万一タンクがはずれた場合、薬剤が飛び散り非常に危険です。</p>	 禁止

2 各部のなまえ



< 付属品 >



3 使用方法

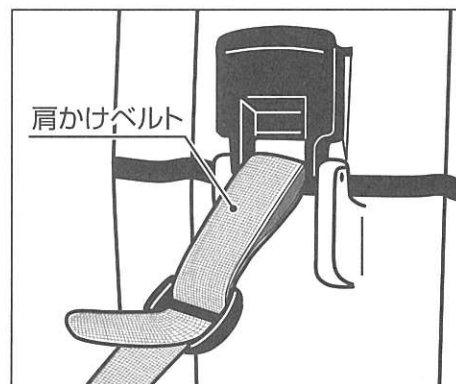
(1) 使用前の準備

ご注意

- 本体からホースを取りはずす事はできません。
- ホースを引っ張らないように、ノズルパイプを調節してご使用ください。

■ 肩かけベルトの取り付けかた

- 付属の肩かけベルトは、シャフトに引っ掛け、右図の様に取付けてご使用ください。



注意

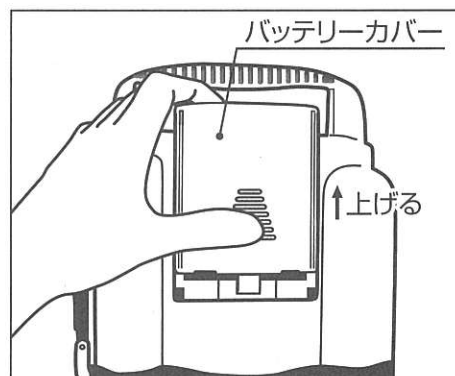
肩かけベルトは、確実に取り付け、引っ張ってみて強度を確認する。
はずれた場合、薬剤が飛び散って服を汚したり、器具が破損することがあります。



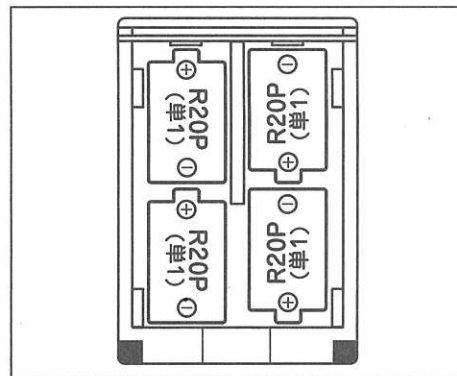
■ 乾電池の入れかた

- 本体に乾電池を入れる前に、タンク内に薬液が入っていないことを必ず確かめてください。
- ★ 薬液が入っていると、乾電池を入れたときに薬液が人体にかかることがあります危険です。
薬液がタンクに入っている場合は、ゆっくりとタンクフックをはずしてからおこなってください。

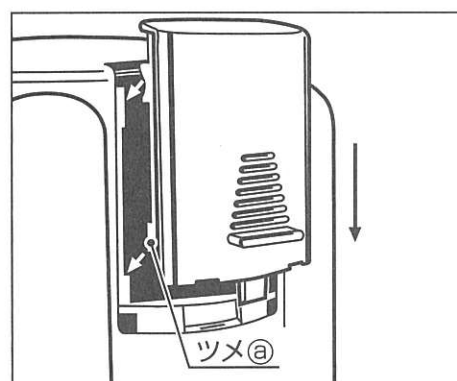
- ① バッテリーカバーの凸部分を上げてバッテリーカバーを取りはずします。



②単一乾電池4個を、⊕⊖を間違えないように、右図のように本体に挿入します。



③ バッテリーカバー両側の4ヶ所のツメ Ⓐと本体の4ヶ所のツメが引っかかり合うように、本体の上から下にスライドさせて、バッテリーカバーをはめ込みます。



④ バッテリーカバーが本体にしっかりはまるまで、押し下げます。

- 乾電池はR20P(単一形)乾電池：4個です。マンガン乾電池でもご使用できますが、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
- 乾電池は、4個とも新しい乾電池を使用してください。古い乾電池を混ぜて使用するのはおやめください。
- 乾電池は4個とも同じ銘柄(メーカーの名前)のものをご使用ください。

! 注意

保管、手入れなど、使用時以外は、乾電池を本体から取りはずす。
何かの拍子でスイッチが入り、器具の故障、過熱、火災の原因になります。
また乾電池が放電し、液漏れして器具を傷めることがあります。



確認

! 注意

新しい乾電池に交換する場合は、すべての乾電池を一度に交換する。
古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用すると、液漏れ、故障の原因になります。



指示

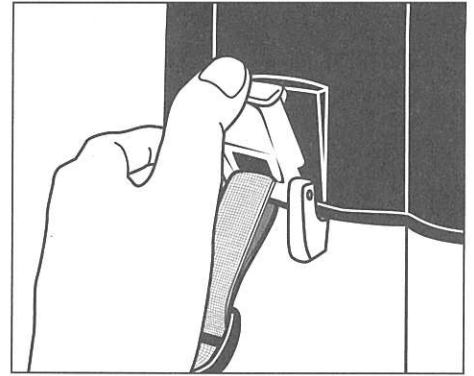
■ 本体とタンクのはずしかた・取り付けかた

ご注意

本体とタンクは、使用中に薬液がこぼれないように、安全のために取りはずしが固い構造になっています。

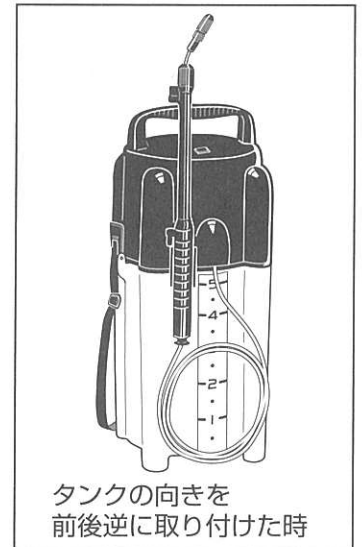
★ 本体とタンクは、タンクフックを外側に倒す事で本体側面のツメからはずれ、タンクをはずす事ができます。

又、タンクフックを本体側面のツメに引っ掛ける事で、本体と組み立てる事ができます。



■ タンクに薬液が入っている時は、タンクをはずさないでください。薬液がこぼれた場合非常に危険です。やむをえずはずす場合は、水平な場所に置き、本体をしっかりおさえてゆっくりとタンクフックをはずして、タンクをはずしてください。その時には必ず保護具を使用して作業を行ってください。

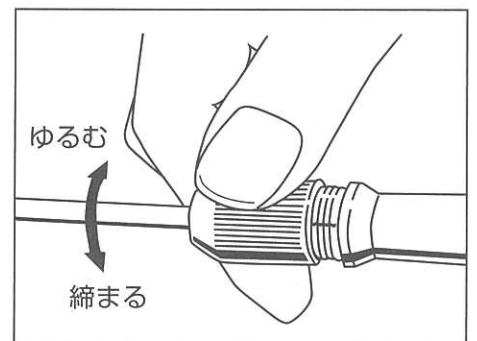
● タンクの向きは、ホースの出口が前にも後ろにもなるように取り付けることができます。



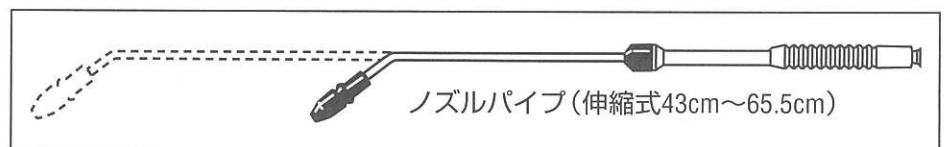
■ 伸縮式ノズルパイプの調節のしかた

● 調節キャップを矢印の方向に回してゆるめ、ノズルパイプを伸ばしてください。

ノズルパイプを伸ばしたら、調節キャップを矢印の方向に回して締めてください。



● ノズルパイプの長さは約43cm～65.5cmまで調節できます。



★ ご使用中にノズルパイプ、ホースの接続部などから液漏れした場合は、接続個所の締めつけがゆるんでいないか確認してください。

それでも液漏れする場合は、パッキン、オーリングの劣化や紛失が考えられますので販売店にご相談ください。

⚠ 注意







改造したり、ノズルパイプを継ぎ足して長くしたり、ノズルキャップの穴を大きくしない。
故障の原因になります。



分解禁止

■ 薬剤の取り扱い

★ 薬剤は薬剤メーカーの注意に従ってご使用ください。

 警告	使用する薬剤は人体に有害です。薬剤の使用、取り扱いは、必ず薬剤会社の注意・説明書に従って、正しく取り扱ってください。	 確認
 注意	薬剤の取り扱いは、必ずゴム手袋をはめておこなう。	 確認
 注意	園芸用以外の殺虫剤、消毒剤、防疫用薬品、畜産用薬品や強アルカリ性薬剤、強酸性薬剤などは使用しない。故障の原因になります。	 禁止





水と薬剤を別容器で、正しい分量をよく混ぜ合せてください。

特に粉末の薬品を使用するときは、完全に溶かしてください。溶かし方が不十分ですと、ポンプの目づまり等故障の原因になりますので充分注意してください。

- 薬剤を調合する容器は、薬剤専用にご用意ください。
- 薬剤の原態の保管には、充分注意してください。また使用済みの空ビン、空袋等の処理も充分注意してください。

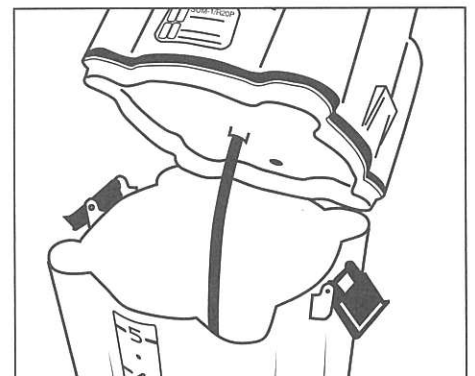
- 薬剤を正しく使用するためには、薬剤量と水量を正確に計ってください。薬剤の薄め方は、右表を参考にしてください。

		薬剤の薄めかた				
水の量 薬剤	1 L	2 L	3 L	4 L	5 L	
500倍液	2 cc	4 cc	6 cc	8 cc	10 cc	
1000倍液	1 cc	2 cc	3 cc	4 cc	5 cc	
2000倍液	0.5 cc	1 cc	1.5 cc	2 cc	2.5 cc	







 注意	40°C以上の湯、薬剤は使用しない。故障、やけどの原因になります。	 禁止
 注意	粘度の高い薬剤は使用しない。故障の原因となります。	 禁止

■ タンクに薬剤を入れる方法

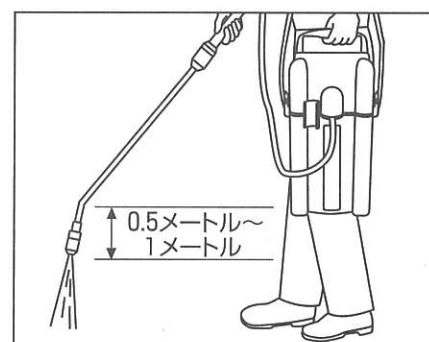
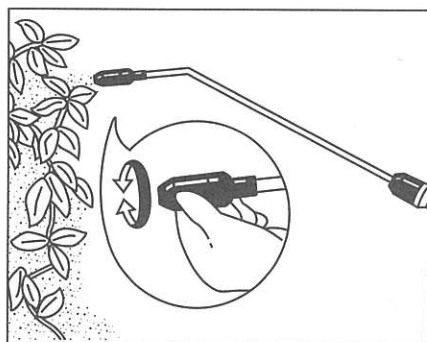
- 本体とタンクを取りはずし、タンク内のごみ・ほこり等の入っていないことを確認して、薄めた薬液を、タンクが目盛りに合わせて入れてください。タンクの容量は約5Lです。
- 使い初めは、薄めた薬液を2.5L以上入れてください。
- ノズルキャップやフィルターが目づまり防止のため、次のことに注意してください。
 - タンク内にごみが入ったり、フィルターにごみが付着しないこと。
 - 水は水道水を使用し、川や池の水を使用しないこと。
 - 粉末薬品は完全に溶かすこと。(目づまり防止)
- タンクに薬液を入れたら、確実に本体とタンクを組み立ててください。本体やタンク表面に薬液がついた場合は、必ずきれいにふき取ってください。





(2) 運転方法

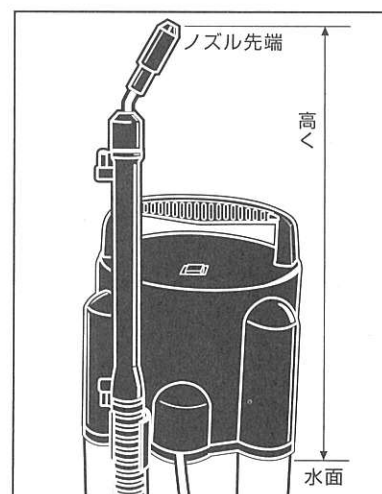
 警告	使用する薬剤は人体に有害です。薬剤の散布は、人体や動物にかからないように十分に注意し、必ず風上からおこなってください。	 確認
 注意	薬剤の取り扱いや散布にはゴム手袋をはめ、散布時は帽子、マスク、合羽などで、薬液がかからぬ工夫をする。	 確認
 注意	本体を置いて使用する場合、ホースをむやみに引っばらない。本体が引っばられ転倒し、薬液が漏れ出すおそれがあります。	 禁止

- ① 本体を置いて使用する場合は、噴霧液のかかる心配のない、本体が転倒しない平らなところに置いてください。
- ② ノズルを植物に近づけてから、本体のスイッチを「入」にし、ノズルキャップを回して噴霧（噴射）してください。
もし約10秒間待っても液が出ないときは、スイッチを切り、フィルターの目づまりはないかなどを確認して、ノズルをタンクよりも約0.5メートル～1メートルほど低くしてみてください。



 注意	空運転しない。 モーターが焼きついたり、樹脂ギアの破損など故障の原因となります。	 禁止
---	---	---

- 使い始めは、液をタンク表示の2.5L以上入れてください。
- 連続してご使用になる場合、タンクの液が空になって液を補充したときは、すぐに運転をさせずに約10分ほど休止してから、運転をしてください。
- ご使用の途中で運転を止めて放置する場合は、右図のように本体側面のグリップ固定部にノズル先端を上にして固定するか、またはノズル先端をタンク内の水面より高くしてください。
- ノズル先端を下に向けておくと、薬液が流れ出てしまいますので充分注意してください。



(3) 噴霧と噴射の切り替えかた



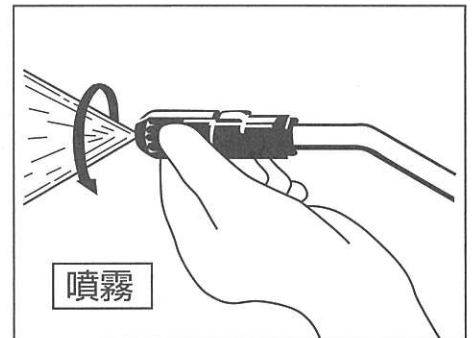
警告

不用意にノズルをのぞいたりして、薬液を身体にかけない。
使用する薬剤は人体に有害です。充分注意してノズル操作をおこなってください。作業をおこなう時は必ずゴム手袋をはめておこなってください。薬害のおそれがあります。

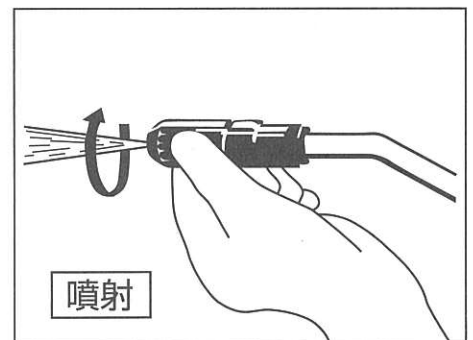


確認

- ①ノズルキャップを矢印の方向に回していっぱいまで締めると噴霧になります。



- ②ノズルキャップを矢印の方向に回してゆるめると噴射になります。



- 噴射の方向へゆるめるとノズルキャップははずれます。
- 噴射にしますと液は遠くへ飛びますので、植物の高さに応じて使用してください。



注意

改造したり、パイプを継ぎ足して長くしたり、ノズルの穴を大きくしたりしない。
故障の原因になります。



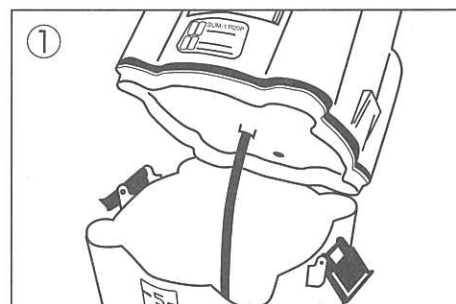
分解禁止

4 使用後のお手入れ方法

お願い

必ずゴム手袋をはめておこなってください。
乾電池を本体からはずしてください。

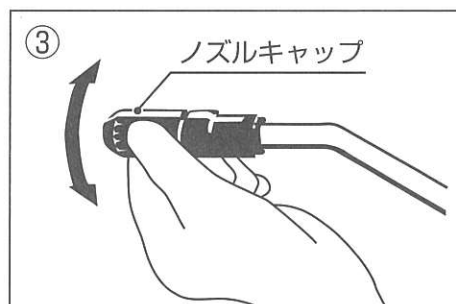
① 本体とタンクはタンクフックを外側に倒すとはずれますので、本体を取りはずしてください。
本体は、水のかかる心配のないところに置いてください。



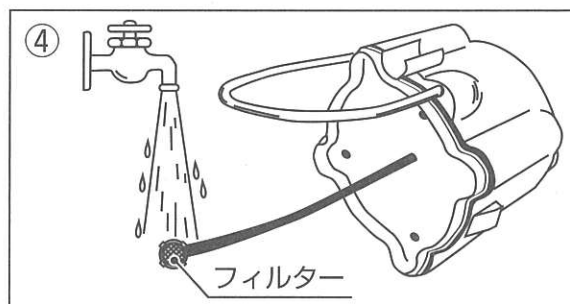
② タンク内に残った薬液を出し、タンク内を水で洗浄してください。
残った薬液や洗浄した水は、散布した場所の適切な土中に埋めてください。



③ タンク内に水道水を入れて、本体にとりつけて乾電池を入れ運転させます。ノズルキャップを回して、噴霧、噴射をして、タンク、フィルター、ノズルなどに残った薬液を洗い流してください。



④ ノズルやフィルターの目づまりを防ぐために、ご使用後は必ず水洗いをしてください。
フィルターを水洗いする際に、本体内に水がかからないように充分注意してください。



⑤ お手入れが終了しましたら、乾電池を本体からはずして保管してください。

⚠ 注意

本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。
ショートのおそれがあります。もし誤って、本体内に水が入ったときは、
すぐに使用を中止し、販売店にご相談ください。



十分に掃除を行ってから保管をする。
薬剤がノズル内やポンプ内部に残り故障の原因となります。



● 器具が汚れたときは、ぬれた布でふき落とし、乾いた布でふきとってください。シンナー、ベンジンや油などでふきますと、ヒビ割れや変色することがありますので使用しないでください。

5 保管上のご注意

- 保管するときは、必ず乾電池を本体から取りはずしてください。



注意

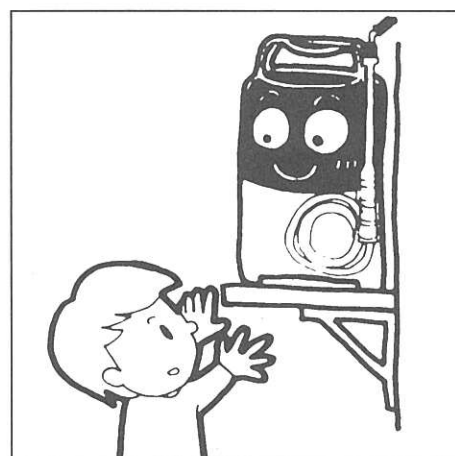
保管、手入れなど、使用時以外は、乾電池を本体から取りはずす。
何かの拍子でスイッチが入り、器具の故障、過熱、火災の原因になります。
また乾電池が放電し、液漏れして器具を傷めることがあります。



確認

- 器具の汚れは、ぬれた布でふき落とし、乾いた布でふきとってください。
シンナー、ベンジンや油などでふきますと、ヒビ割れや変色することがありますので使用しないでください。
- タンク内に残った薬液を入れたままの保管は、絶対にしないでください。故障の原因になるばかりでなく、使用できなくなる可能性があります。

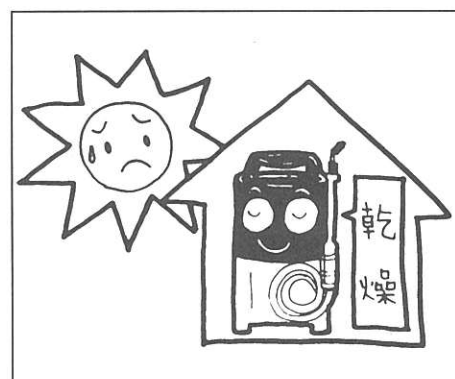
- 小さなお子様の手の届かないところに保管してください。



- 直射日光のあたらない乾燥した室内に保管してください。

- 長期間ご使用にならない場合は、ノズルを下にして、ホース内に残った水をすべて排出してから保管してください。

- 保管する時は、購入時に梱包されている状態にして保管してください。



- ホースは折り曲げないでください。

6 仕 様

型 式 の 呼 び	ESD-50G
使 用 電 池	R20P(単一形)乾電池4個
電 池 寿 命	約40L(噴霧の場合)
噴 霧 能 力	約250cc/分(4.8V時)
噴 射 能 力	約350cc/分(4.8V時)
噴 射 飛 距 離	最大約5.0m
タ ン ク 容 量	約5L
ノズルパイプの長さ (グリップも含む)	43~65.5cm(最大)
ホ ー ス の 長 さ	1.5m
外 形 寸 法 (高さ×幅×奥行)	429×221×221mm
本 体 重 量 (乾電池は除く)	約1.4kg
付 属 品	肩かけベルト

●保証とアフターサービス

●この製品は保証書付きです。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証期間はお買い上げの日から1年間です。

●なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、有料修理いたします。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

使用中に異常が生じたときは、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型 式……ESD-50G
故障状態……できるだけ詳しく
道 順……付近の目印も

●アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買い上げの販売店かまたは別紙の **お客様相談窓口一覧** にご相談ください。

●ご贈答、ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店または別紙の **お客様相談窓口一覧** にご相談ください。

トヨタ三噴霧機保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型 式	ESD-50G	保証期間	お買い上げ日より1年間		
※お買い上げ日		年	月	日	
※お客様	ご芳名 様				
	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				
	ご住所 様				
	〔 電話 () 〕				

※販売店名・住所・電話番号

株式会社 トヨタ三
 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号 〒467-0855 ☎052-822-1144

(※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。)

【 無 料 修 理 規 定 】

- お買い上げ日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い上げの販売店または弊社が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店または弊社まで依頼してください。
- ご転居やご贈答品等でお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問い合わせください。
- 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
 (イ) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 (ロ) お買い上げ後の器具の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
 (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
 (ホ) 本書のご提示がない場合。
 (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 (ト) 部品(フィルター・乾電池など)の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
 ● この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせください。
 ● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

修理メモ

お客様へ…おぼえのため記入されると便利です。

型 式	ESD-50G	お買い上げ年月日	年	月	日
お買い上げ店名	(電話番号) () -				



古紙配合率100%再生紙を使用しています

株式会社トヨタ三は快適環境の一環としてこの取扱説明書は再生紙を使用しています。